

58. 桑の実採取用品種の選抜

福島県蚕業試験場栽桑部・平成10～11年度福島県蚕業試験場年報

1 部門名 蚕糸一栽桑一品種一選抜 分類コード 09-01-01030000

2 担当者 土井則夫・長谷川茂雄

3 要旨

着生する桑の実の数が比較的多い品種18種類を対象に桑の実採取用品種としての選抜調査を2年間行った。6月上旬～7月上旬に桑の実を1品種20～30個採取し、実の大きさ、重さ、糖度、pHについて、また株に着生する実の数および成熟期間などについて調査した。

その結果、実の長さは大唐桑が最も長く、カタネオ、フィカス、ミラン5号、カナダ産桑Aなども長かった。実の幅は大唐桑、カタネオ、カナダ産桑Aなどで長かった。実の重さは大唐桑が群を抜いて重く、カタネオ、カナダ産桑Aも重かった。実の糖度は多胡早生、類無、白芽荊桑で高かった。実のpHは白実が高く、イングリッシュブラックは低かった。

次ぎに株に着生する実の数の多い品種はミラン5号、白実、カタネオ、次いで多胡早生、フィカス等であった。実の成熟期間の長い品種はカナダ産桑A、富陽桑、多胡早生等であった。